

大船渡市立博物館 特別陳列事業の実施について

I 特別展「津波災害からの復興～東日本大震災から10年、

チリ地震津波から61年の記録～」の開催について

1 趣旨

特別展では、令和3年3月、甚大な被害をもたらした東日本大震災から10周年を迎えるにあたり、当時の被害を振り返り、これまでの復興の歩みや10年目の市内の様子を紹介し、記憶の風化を防ぐと共に、再来する津波への備えを喚起します。

また、当市を含む三陸沿岸は幾度となく津波が襲来していますが、その度に異なる様相を示すため、大きな被害をもたらしています。令和2年5月は、チリ地震津波から60周年であったことからチリ地震津波を取り上げ、過去の津波を周知することで三陸沿岸の津波への正しい知識を広く普及させるものです。

2 主催

大船渡市立博物館

3 共催

㈱東海新報社

4 協力

三陸ジオパーク推進協議会

5 会期

令和3年2月20日（土）から8月22日（日）まで

6 会場

大船渡市立博物館 特別展示室

7 展示内容

(1) 大船渡の復興10年

復興の主なできごとを写真や新聞記事で紹介

(2) 10年目の記録

10年間の移り変わりを定点写真で紹介

(3) 過去の津波に学ぶ

チリ地震津波の様相を写真や新聞記事で紹介

(4) 津波を忘れない

市内にみられる石碑や、東日本大震災後の取り組みを紹介

8 学芸部門

歴史、地質

9 刊行物

図録（A4判カラー 関係機関等への無償配布500部、有償頒布500部）を刊行

10 広報

市広報（1月20日号）、市ホームページ・ツイッター

Ⅱ「縄文時代のものづくり 土器」展の開催について

1 趣旨

大船渡市内の遺跡の多くは縄文時代のものであり、多くの出土品がみつかっています。縄文遺跡からみつかる代表的な出土品として「縄文土器」があり、この土器の製作については、様々な視点から研究が進められています。

この展示では、土器づくりに関する様々な研究成果と、縄文土器に残る製作時の痕跡から当時の土器づくりの様子や縄文時代の技術を広く普及させ、郷土の歴史への理解と文化財愛護思想を啓発します。

2 主催

大船渡市立博物館

3 協力

三陸ジオパーク推進協議会

4 会期

令和3年1月23日（土）～令和3年3月21日（日）

5 会場

大船渡市立博物館 多目的ホール

6 展示内容

- (1) 縄文土器は大発明！
- (2) 土器の形をつくる（成形技法の紹介）
輪積み成形や敷物の痕跡が残る土器（破片）
- (3) 形を整え、文様をつける（調整、施文技法の紹介）
形の調整や施文の痕跡が残る土器（破片）
- (4) 土器を焼く（焼成技法の紹介）
黒斑の残る土器（破片）
- (5) トピックス
土器をつくったのはだれ？
大船渡市内でみつかった縄文人骨とその復顔のレプリカを展示
展示資料数 75点（実物資料60点、解説パネル等15点予定）

7 学芸部門

考古

8 広報

市広報（1月20日号）、市ホームページ・ツイッター

担当：市立博物館
電話：0192-29-2161



特別展

津波災害からの復興

東日本大震災から10年、
チリ地震津波から61年の記録

2021.2.20(土)▶▶▶8.22(日)



会場 大船渡市立博物館(特別展示室)
岩手県大船渡市末崎町字大浜221-86

開館時間 09:00 - 16:30 (受付は16:00まで)

休館日 毎週月曜日(祝日・休日の場合は翌日)

入館料	個人	団体 (20名以上)	世界の椿館との 共通券	個人	団体 (20名以上)
高校生以下	無料		開花時期	600円	550円
一般	300円	250円	非開花時期	400円	350円

令和2年度 大船渡市立博物館 特別陳列事業

縄文時代の ものづくり 土器展

2021.01.23 sat
→ 03.21 sun

会場 | 大船渡市立博物館 多目的ホール
岩手県大船渡市末崎町字大浜221-86

開館時間 | 09:00-16:30(受付は16:00まで)

休館日 | 毎週月曜日(祝日・休日の場合は翌日)

入館料	個人	団体 (20名以上)	世界の権館との 共通券	個人	団体 (20名以上)
高校生以下	無料		開花時期	600円	550円
一般	300円	250円	主催 / 大船渡市立博物館 協力 / 三陸ジオパーク推進協議会		